ホクコークリンチャー™EW

■種 類 名：シハロホップブチル乳剤
■有効成分：シハロホップブチル----------30.0%
■PRTR法指定物質：シハロホップブチル［第１種］ ----------30.0%
ナフタレン［第１種］ ----------2.6%
メチルナフタレン［第１種］ ----------9.1%

■登録番号：第19197号
■毒　　性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)
■登録初年：1996.04.25
■性　　状：類白色粘稠乳濁液体
■有効年限：５年
■包　　装：100ml×30本

【特長】

- 移植後２０日～ノビエの６葉期まで使用可能(移植水稲)な茎葉処理タイプのヒエ用除草剤。
- 関東以西のキシュウスズメノヒエにも有効である。
- 直播栽培にも使用できる。

【適用内容】(2014 年 10 月末日現在)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ｼﾊﾛﾎｯﾌﾟﾌﾞﾁﾙを含む農薬の総使用回数
				薬量又は希釈倍数	希釈水量又は使用液量				
移植水稲	ノビエ ｷｼｭｳｽｽﾞﾒﾉﾋｴ(関東以西) アゼガヤ(近畿･中国･四国、九州)	移植後 20 日～ノビエ 6 葉期 但し、収穫 30 日前まで	砂壌土～埴土	100ml/10a	25～100 ﾘｯﾄﾙ/10a	２回以内	湛水散布又は落水散布	全域の普通期及び早期栽培地帯	３回以内
直播水稲	水田一年生イネ科雑草	は種後 10 日～ノビエ５葉期 但し、収穫 30 日前まで					雑草茎葉散布	全域	
稲(箱育苗)	ノビエ	は種後 10 日～ノビエ５葉期		1000 倍	育苗箱(30×60cm)当り 18ml	１回			

【効果・薬害等の注意】

- 散布液は使用当日に調製すること。
- 本剤は乳濁性液体なので、使用の際は容器をよく振って均一な状態にしてから所定量を取り出すこと。
- 本剤使用の際は展着剤を加用すること。
- 本田内に再生するキシュウスズメノヒエでは再生茎３～６葉期が本剤散布の適期である。また、畦畔より侵入するキシュウスズメノヒエ防除では畦畔からのほふく茎１m以内の株全体に株元まで散布すること。
- アゼガヤには、草丈 60cm まで有効なので時期を失しないように散布すること。
- 広葉雑草には効果がないので、広葉雑草が混在する圃場ではそれらに有効な剤と組み合わせて使用すること。
- 落水条件で散布する際はまきむらのないように均一に散布すること。
- 湛水条件で散布する際は原液散布では効果がないので、散布液を使用当日に調製し、水の出入りを止めて湛水のまま均一に雑草茎葉散布し、少なくとも３～４日間は通常の湛水状態(水深３～５cm 程度)を保ち、散布後７日間は落水、かけ流しはしないこと。
- 漏水田(減水深 2cm/日以上)では薬害が発生するおそれがあるので、使用しないこと。
- 少水量散布（25～50 ﾘｯﾄﾙ/10a）には専用ノズルを使用すること。
- 本剤はとうもろこし、食用ひえ、ソルガムなどイネ科作物及びキャベツの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合にはかからないよう十分注意すること。また、散布田の水田水をこれら作物に灌水しないようにすること。
- 乾燥が続いた条件では除草効果が低下する場合があるので注意すること。特に、乾田直播水稲に使用する場合は注意すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けること。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。
  散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さないこと。また、空容器は水産動物に影響を与えないよう適切に処理すること。

【安全使用上の注意】

- 誤飲などのないよう注意すること。
- 魚毒性等：水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないこと。本剤を使用した苗は養魚田に移植しないこと。
- 保管：直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。

北興化学工業株式会社